

アールエフの産業用X線CT「NAOMI-CT」

「スの検出」のソフトを開発

“ス”を被写体の_{として}体積比数値化

アールエフは、このほど産業用X線CT「NAOMI-CT」により可視化した成形品など被写体の“ス”（内部の空洞部分）を被写体の体積比として数値化できる「スの検出」のソフトを開発した。NAOMI-CTのユーザー登録者宛てにダウンロードアドレスを案内する（無料）。

スの検出のソフトは、N界は、成形時に発生してしまったスを減らすことに努めているが、プラスチック・樹脂業界でも同様の要望があがっていた。このニーズになつたが、観察できたスに対して開発したのが「ス・容積」比較ができる。については数値データとして管理し、製品管理に活かしたいというニーズが寄せられていた。特にアルミダイカスト業界で、被写体に

いやすくしている。なお、スの検出は任意の色付けができるので、スの形状などをよくわかる（スの色付けの参考写真はカラーでないためNAOMI-CTの

とわからないため6面）。ユーザーのみで、無料。※他社では、スの検出の機能追加または同機能を持った

撮影機能のNAOMI-CTで撮影で超える金額になっているようである。

アールエフでは、産業用X線CTは様々な業種で活用されるこれから製品で、2D撮影も可能となる。

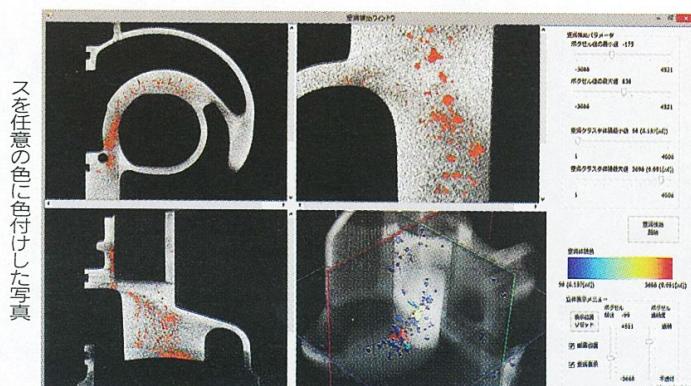
スの検出は、NAOMI-CTを導入したユーザーの要望を受けて開発したもの。同装置によりスを画像で可視化できる様になったが、観察できたスに対する開発したのが「ス・容積」比較ができる。これにより例えば、スの量がX%以上は不良と、良否判定の目安ができる。多寡による食感の数値化によっては、同じスのソフトはシンプルに使われる。しかし置つており、X

役立つと期待されている。検出できた空洞を数値化できる今回の機能は、分野ごとの目的に応じて想像もしないような使い方に発展する可能性もあるが、アールエフでは新しい提案や意見があればその都度反映していく意向である。

配布は同社ユーザー向けに開発した専用ソフトであるためNAOMI-CTの

問い合わせは同社産業機器事業部東部事業所（☎026-2255-7733）まで。なお同社が全国29箇所に開設した、「さんぎょうCT診断センター」でのCT導入ユーザーは使

協力で完成したものだが、今後も使う側からの率直な意見や要望に対応し、製品を売って終わりではなく、今後ともあらゆる分野でなくてはならない位置づけの最大の鍵はユーザー満足度アップ（医療機器分野でも実証済みで、口コミが最も多く）とみている。今回のソフト開発はいわばユーザー



エンプラスニュース

発行所 プラスチック・ニュース社 発行人 力久俊二
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-45-5 新宿永谷ビル402号 購読料 1ヵ年15,000円
電話 03-3200-0317 FAX 03-3200-0374 E-mail: plastic@oak.ocn.ne.jp

（2019年3月末日発行）